

令和８年度 教育普及事業計画

区分	事業項目		事業名	実施時期	事業内容	目標参加者数	特記事項
負担金事業	教育普及事業	文学に関する講演会・講座	展覧会事業に関連した講演会・セミナー等	7～9月	特別展「堀内誠一 子どもの世界」関連の講演会、朗読会などを期間中に開催する。	300	・特別展関連事業
				12～3月	特別展「岩田道夫」関連の講演会、朗読会などを期間中に開催する。	300	・特別展関連事業
				随時	展覧会関連事業として、適宜追加して実施する。	170	・特別展関連事業
		参加体験型事業	文学道場夏休み	7～8月	〔趣旨・内容〕 中学生、高校生を対象に、創作する上で必要な心構えと文章技術の両面に及ぶ実践的なワークショップを実施する。動画配信と集中講義形式で、現在活躍中の作家から直接、作品を創作するためのアドバイスを受け、実作を試みる。	30	
			短小中高生テストコン	7～1月	〔趣旨・内容〕 小中高生を対象に作品を募集し、優秀作品を表彰するほか、応募があった優秀作品を、ロビーに展示する。	6,500	
			ファ文学ミ	4～6月	〔趣旨・内容〕 家族向けの展示とイベントを合わせてワークショップ等を実施することで、来館者層を広げるとともに、将来の文学ファンとなるべき若年層を育成し、文学館を身近に感じてもらう。	200	
			ランドこわく	13開催	〔趣旨・内容〕 幼児、小学生と保護者を対象に、文学館に親しむ教育的事業を実施する。紙芝居、読み聞かせ、人形劇、工作教室など幅広い内容の事業を実施する。	390	・13回×30人
		映画鑑賞会		年4回	〔趣旨・内容〕 文学館が道民に親しまれる文化施設となるため、文学館にあまり足を運ぶ機会のない人を対象として、文学性、娯楽性、作品としての完成度などを総合的に勘案して開催する。	240	・4回×60人
		地域連携事業	「出前講座」文学館	15地域	〔趣旨・内容〕 地域の文学振興を図るため、文学館に足を運ぶ機会の少ない地域を対象として、市町村（図書館、公民館等）、文化団体、学校等との共催で、財団の役員等を講師やアドバイザーとして派遣して共催で事業を実施する。	1,200	・市町村、学校、文化団体等との協働 ・15地域×80人
			ミニ巡回展	2地域	〔趣旨・内容〕 地域の文学振興を図るため、文学館に足を運ぶ機会の少ない地域を対象として、市町村（図書館、公民館等）、文化団体、学校等との共催で、文学資料や展覧会で使用したパネル、キャプション等を貸出しする事業を実施する。	4,200	・市町村、学校、文化団体等との協働 ・2地域×2100人
		文化振興事業	文字・活字文セミナー等	1開催	〔趣旨・内容〕 文字・活字文化の振興を図るため、文字・活字文化の日（10月27日）の趣旨にふさわしいテーマの講演会、セミナー等を開催する。	60	
		月例朗読会		8開催（月1回）	〔趣旨・内容〕 常設展をPRするため、朗読グループ（ボランティア）を活用して、北海道ゆかりの作家の作品などを中心に月1回開催する。	400	・8回×50人
		資料閲覧・研究支援		通年	〔趣旨・内容〕 本道ゆかりの作家の作品を直接手に取り鑑賞、研究を支援するため、閲覧室に司書を配置し利用者の支援を行う。	3,250	・9.3月×350人
		計				17,240	
財団自主事業	教育普及事業	文学館カレッジ		5～3月	〔趣旨・内容〕 広く文化全般をテーマに、各分野の先端の知識を学ぶ講座を開催する。4講座程度を予定。	380	・2×7回×20人 ・2×5回×10人
		文学散歩		3開催	〔趣旨・内容〕 中島公園や大通公園などを有識者と回り、北海道ゆかりの作家の足跡をたどる。	30	
		探検クイズ		通年	〔趣旨・内容〕 若年層に文学館への親しみを持ってもらうため、常設展示の中から小学生クイズを出題し、正解者にはシールを配布する。	100	
		芸術文化等の活動支援		通年	〔趣旨・内容〕 文学の周辺領域である音楽や朗読等の活動を支援するため、芸術文化の愛好者等が行うコンサートや朗読会等を当財団と共催で実施する。	600	
		計				1,110	